

目次

品詞の識別	1
1. Frame of Reference	5
2. 動詞型	5
3. 前置詞の目的語	6
4. 品詞と働きの関係	6
5. 形容詞の働き	7
6. 動詞の目的語	7
7. 補語	8
8. 受身	11
9. 活用	12
10. 受身の動詞の活用	12
11. 述語動詞と準動詞	15
12. 文の定義	15
13. ing形	16
14. to + 原形	16
15. 過去分詞形	17
16. 活用と述語動詞・準動詞の関係	18
17. 原形と現在形の識別	18
18. 裸の過去分詞	23
19. 2つのVのルール	26
20. 2つのS + Vのルール	26
21. 従属節の種類	29
22. 大黒柱	29
23. 外側と内側	30
24. 内外断絶の原則	30
25. 従属節を作る言葉と外側・内側	31
26. 名詞節を作る言葉	31
27. 副詞節を作る言葉	32
28. 形容詞節を作る言葉	32

29. 関係代名詞	35
30. 関係代名詞の省略	43
31. 関係代名詞の what	43
復習用英文	45
Technical Terms	53
[1] be	53
[2] 冠詞と所有格	54
[3] S②CとS③O	55
[4] S④OOとS⑤OC	56
[5] 等位接続詞	57
[6] 副詞的目的格	58
[7] 誘導副詞 there	59
[8] have to 原形	60
[9] 完了	61
[10] 前置詞+動名詞	62
[11] 同格	63
[12] 前から名詞を修飾する分詞	64
Frame of Referenceの要点	65
記号一覧表	68

18. 裸の過去分詞

1. 過去分詞の4つの可能性

過去分詞は文中で必ず次の4つのどれかで用いられます。

(1) 受身

The baby was named John by them.
S -⑤ C ad

その赤ちゃんは彼らによってジョンと名づけられた。

(2) 完了

I have seen him before.
S aux ③ O ad

私は以前に彼を見たことがある。

(3) 形容詞用法

A boy named John lived in a tiny cottage.
S ~ a | -⑤ C ① ad

ジョンという名前の少年が小さな小屋に住んでいた。

(4) 分詞構文

Scolded by mother, the child began
ad | -③ ad S ③
to cry.
O | ①

母親に叱られて、その子供は泣き出した。

さてこの4つの可能性のうち、受身と完了は、過去分詞にbeやhaveといった助動詞をつけて用いています。それに対して、形容詞用法と分詞構文は、過去分詞に助動詞をつけず、過去分詞だけで単独で用いています。前にbeやhaveをつけないで単独で用いられた過去分詞を裸の過去分詞と呼ぶことにすると、形容詞用法と分詞構文は次のように言うことができます。

裸の過去分詞は形容詞または副詞の働きをする。

このルールは過去分詞に関する最も重要なルールなので、さらに突っ込んで研究することにしましょう。

2. 助動詞と動詞型の関係

動詞の働き(=動詞型)は、主語の有無や助動詞の有無によっては変化しません。たとえば、I can drive the car. から主語のIと助動詞のcanを取ってDrive the car. にしても、Driveの動詞型(=③)は変わりません。

同様に、A man is driving the car. から助動詞のisを取ってA man driving the carにしても、drivingの動詞型(=③)は変わりません。ただし、drivingは裸のingになるので準動詞(=動名詞、現在分詞形容詞用法、分詞構文のどれか)になります。現在分詞形容詞用法と考えると次のようになります。

④ A man is driving the car.
S ③ O

⑤ A man driving the car ...
S ~ a | ③ O

その車を運転している男は ...

3. 裸の過去分詞

「裸の過去分詞」は「着物を着ている過去分詞(受身と完了)」から着物(beとhave)をはがしたものです。そこで、まず着物を着ている過去分詞から考えてみましょう。着物を着ている過去分詞は次の3つのどれかです。

(1) have + 自動詞の過去分詞

これは自動詞の完了形で、動詞型は①か②です。ここからhaveを取って、自動詞の過去分詞を裸にすると次のようになります。

自動詞の過去分詞	
a	①
ad	②

この形はありえます。ただし、すべての自動詞がこのように使えるわけではありません。①の過去分詞を裸で使えるのは原則として往来発着動詞(go, come, arrive, returnなど)とhappen, fall, retire, gatherなどに限られます。また、②の過去分詞を裸で使えるのはbecomeとturnとgoに限られています。それでは、returnの過去分詞を裸にしてみましょう。

The soldiers have returned from the battlefield. から助動詞のhaveを取ってThe soldiers returned from the battlefieldにしても、returnedの動詞型(=①)は変わりません。

22. In days gone by things like these never happened.

23. He is a Christian turned Buddhist.

24. The guests invited to the party were surprised to hear the news.

25. He deserves the place of importance given him in the literary histories.

26. A boy named John lived in a tiny cottage.

8-1 裸の p.p. の動詞型

8-2

22. **In days gone by things like these never happened.**

ad a | ① ad S a ad ①

このようなことは昔は決して起こらなかったものだ。

8-3

23. **He is a Christian turned Buddhist.**

S ② nC a | ② nC

彼はキリスト教徒から仏教徒に改宗した人だ。

8-4

24. **The guests invited to the party were surprised to hear the news.**

S a | -③ ad -③ ad | ③ O

パーティに招待された客はその知らせを聞いて驚いた。

8-5

25. **He deserves the place of importance given him in the literary histories.**

S ③ O a a | -④ O ad

彼は文学史上で彼に与えられた重要な地位を受けるに値する。

8-6

26. **A boy named John lived in a tiny cottage.**

S a | -⑤ C ① ad

ジョンという名前の少年が小さな小屋に住んでいた。